

# 研究部会紹介

## 組織・人・情報とイノベーション研究部会

主査：伊東俊彦（桜美林大学）  
幹事：奥村経世（専修大学）

### 1. 本研究部会設立の経緯

2010年4月に、「組織情報と変容の諸相」研究部会の主要メンバーを中心として、新たにイノベーション関連の研究を進める研究部会として「組織・人・情報とイノベーション」研究部会を発足し、すでに2年が経過しました。本部会のルーツは1995年に発足した「エンタープライズ・トランスフォーメーション（ET）」研究部会で、これまで下表に示すような研究部会を通して主に組織変革に関する研究を継続してきました。

活動期間	研究部会名	主査・幹事
1995.4-1997.3	エンタープライズ・トランスフォーメーション	松島桂樹 杉野 周
1997.4-1999.3	変わり続ける組織	竹之内 隆 伊東俊彦
1999.4-2003.3	企業変容と情報技術	奥村経世 伊東俊彦
2003.4-2007.3	情報と企業変容	奥村経世 伊東俊彦
2007.4-2010.3	組織情報と変容の諸相	奥村経世 池邊純一
2010.4- 至現在	組織・人・情報とイノベーション	伊東俊彦 奥村経世

### 2. 本部会の目的

環境問題やグローバル化の進展、急激な不況によるビジネスの縮減などに対する企業マネジメントの課題対応が求められているなかで、われわれは、そうした課題対応の一つとしてイノベーションを、「新たな組み合わせ」による変革としてとらえ、組織（企業・各種組織（NPO・行政・教育・医療など））のあり方や人のあり方、情報の認識や取扱いのあり方という視点からのイノベーションの研究に

取り組むことが大切であると考えています。本部会の目的は、組織が変革を続けていくためのイノベーションの新たなあり方を組織活動、人および情報の視点から研究することにより、実社会に活かしていくための指針を探索することです。

### 3. 本部会の活動内容

原則毎月第4土曜に専修大学神田校舎で定例研究会を開催しています。この4月・5月には2回にわたり公開シンポジウム（サステナブル社会とイノベーション）を開催しました。

本部会の具体的な研究内容としては、マクロとミクロの両視点から、イノベーション創出のメカニズムへのアプローチを試みています。マクロ的視点では各種プラットフォーム、サービス・ドミナント・ロジック、ソーシャル・イノベーションなどのキーワードを手がかりに、現代社会における新しいイノベーションの姿を議論してきました。また、ミクロ的視点からはダイナミック・ケイパビリティを中心概念として、組織内におけるイノベーション創出のメカニズムとそのための諸制度のあり方、さらには、企業変容との関係を議論してきました。

定例研究会はオープンに運営していますので、メールでご連絡いただければ、直近の開催日・場所をご連絡します。ぜひご自由にご参加いただきたいと思います。

### 研究部会連絡先

連絡先：主査：伊東俊彦（桜美林大学）  
電子メールアドレス：toko-ito-yama@k5.dion.ne.jp  
URL：http://www.tamagawa.ac.jp/teachers/kozakai/iandohi/